



(別紙3)

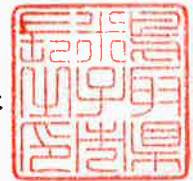
教体起第1496号-1

平成29年3月9日

一般財団法人鳥取県水泳連盟

会長 川口 武 様

米子市長 野坂康夫



平成27年度「米子市営東山水泳場」指定管理者業務評価書

|        |   |
|--------|---|
| 施設名    | 米子市営東山水泳場   |
| 施設所管課  | 教育委員会事務局 体育課  |
| 指定管理者名 | 一般財団法人鳥取県水泳連盟   |
| 指定期間   | 平成24年4月1日 ～ 平成29年3月31日(4年目)<br>※指定期間途中の平成27年11月1日で鳥取県に移管。 |

【モニタリング終了後の総評】

事業計画書に則り、概ね良好に管理されています。

【施設所管課】

管理内容については、自主事業の実施等、概ね良好に管理されています。

ただし、利用者アンケートについて未実施でした。

県営施設となった後も利用者の要望把握に努めてください。

【第三者評価】(米子市スポーツ推進審議会の意見抜粋)

- ・施設全般の管理運営業務は適切に行われている。
- ・利用者アンケートは実施するよう市から指導するべき。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

利用者の要望把握について努めるようお願いします。

【第三者評価】(米子市スポーツ推進審議会の意見抜粋)

- ・通路のコンクリートの割れやスタンドベンチの破損が見られ、改善すべき。

## 平成27年度「米子市営東山水泳場」モニタリング評価表 [平成28年12月]

|         |   |                |
|---------|---|----------------|
| 施設名     | 米子市営東山水泳場                                       |                |
| 施設所管課   | 教育委員会事務局 体育課                                    |                |
| 指定管理者名  | 団体名   | 一般財団法人 鳥取県水泳連盟 |
|         | 所在地   | 鳥取市天神町50番地3    |
| 指定期間    | 平成24年 4月 1日 ~ 平成27年 10月31日                      |                |
| 選定方法    | 公募・非公募  |                |
| 施設の設置目的 | 米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。 |                |
| 主な実施事業  | 米子市主催水泳教室及び自主事業による水泳教室を開催                       |                |

| 評価項目                 | 評価基準  | 評価 | 特記事項  |
|----------------------|---|----|---|
| <b>I 履行の確認 (55点)</b> |   |    |   |
| 1 施設全般の管理運営に関する業務    |   |    |   |
| (1)管理体制              | 施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか<br>安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか | B  | 立入調査・資料確認<br>場長1名、副場長1名<br>その他職員（パートを含む）7名<br>計9名   |
| (2)職員研修              | 職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか                               | B  | 資料確認  |
| (3)利用促進業務            | 利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか  | B  | 資料確認  |
| 2 利用者に関する業務          |   |    |   |
| (1)利用状況              | 利用者数・稼働率等は適切な水準であるか<br>補足資料※1                                       | B  | 資料確認  |
| (2)利用者の要望把握等         | 利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか   | B  | 資料確認  |
| 3 保守点検並びに清掃等の業務      |   |    |   |
| (1)保守点検業務            | 基準に基づき、保守点検が適切に行われたか<br>第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か                        | B  | 立入調査・資料確認<br>建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。<br>第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。 |
| (2)清掃・維持業務           | 基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか<br>第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か                   | B  | 立入調査・資料確認<br>清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。   |
| (3)保安・警備業務           | 基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか<br>第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か                     | B  | 立入調査・資料確認   |

|                  |  |   |   |
|------------------|--|---|---|
| (4) 修繕業務         | 基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか<br>第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か | B | 立入調査・資料確認<br>施設の保全に関して適切に対応されている。         |
| 4 自主事業の実施に関する業務  | 事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか                       | B | 資料確認<br>計画された自主事業は適切に行われた。                |
| 5 情報公開・個人情報に係る措置 | 情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか                    | B | 立入調査・資料確認<br>情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。 |
| 6 管理目標           | 施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか         | B | 立入調査・資料確認                                 |

## II サービスの質の評価 (25点)

|          |  |   |  |
|----------|--|---|--|
| 1 利用者満足度 | 利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか<br>利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか | C | 立入調査・資料確認<br>利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。<br>アンケート調査については未実施 |
| 2 維持管理業務 | 日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか              | B | 立入調査・資料確認<br>維持管理についても修繕と同様に適切に対応されている。                                    |
| 3 運営業務   | 事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。<br>利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか    | B | 立入調査   |
| 4 自主事業   | 実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか                   | B | 資料確認   |
| 5 施設の効用  | 施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか                       | B | 立入調査   |

## III サービスの安定性の評価 ( 点)

|                   |  |   |      |
|-------------------|--|---|------|
| 1 事業収支            | 指定管理業務の事業収支は妥当であるか<br><b>補足資料※2</b>        | B | 資料確認 |
| 2 経営状況            | 指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか<br><b>補足資料※3</b> | B | 資料確認 |
| 3 団体等の経営状況 (年度ごと) | 団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか<br><b>補足資料※4</b>     | B | 資料確認 |

|   |   |
|---|---|
| <p>【総評 (所管課評価)】</p> <p>概ね良好な管理内容であるが、利用者アンケートについて未実施だった。</p> <p>平成27年11月から鳥取県に施設が引き継がれたが、引き続き良好な管理運営をしていただくことを望みます。</p> | <p>合計点<br/>(58) 点 / (100) 点</p> <p>×100 = (58)</p> <p>平均点<br/>(2.9) 点</p> |
|---|---|

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）  
 B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）  
 C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）  
 D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

| 項 目                     | 本年度〔平成27年<br>4～10月〕 A | 前年度〔平成26年<br>4～3月〕 B | 対比<br>A-B、A/B     | 対比が±20%を超える場<br>合は増減理由を記載          |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|-------------------|------------------------------------|
| 開館日数                    | 72日                   | 286日                 | -214日<br>25.2%    | 改修工事による休館のため。また H27.11 から県に譲渡したため。 |
| 施設利用者数                  | 8,623人                | 64,110人              | -55,487人<br>13.5% | ”                                  |
| 施設稼働率＝<br>利用日数／開館<br>日数 | 100.0%<br>72日／72日     | 100.0%<br>286日／286日  | ±0                |                                    |
| 自主事業参加者<br>数            | 2,575名                | 19,309名              | -16,734<br>13.3%  |                                    |

※2 事業収支

(1) 収 入

| 項 目    | 本年度〔平成27年4<br>～10月〕 A | 前年度〔平成26年4～<br>3月〕 B | 対比<br>A-B、A/B         | 対比が±20%を超える場<br>合は増減理由を記載          |
|--------|-----------------------|----------------------|-----------------------|------------------------------------|
| 指定管理料  | 16,291,000円           | 27,929,000円          | -11,638,000円<br>58.3% | 改修工事による休館のため。また H27.11 から県に譲渡したため。 |
| 施設使用料  | 471,000円              | 10,418,200円          | -9,947,200円<br>4.5%   | ”                                  |
| 事業収入   | 1,760,000円            | 11,586,645円          | -9,826,645円<br>15.2%  | ”                                  |
| その他の収入 | 319,000円              | 517,095円             | -198,095円<br>61.7%    | ”                                  |
| 合 計    | 18,841,000円           | 50,450,940円          | -31,609,940円<br>37.3% |                                    |

(2) 支 出

| 項 目 | 本年度〔平成27年4<br>～10月〕 A | 前年度〔平成26年4～<br>3月〕 B | 対比<br>A-B、A/B            | 対比が±20%を超える場<br>合は増減理由を記載          |
|-----|-----------------------|----------------------|--------------------------|------------------------------------|
| 人件費 | 10,613,000円           | 25,068,611円          | -14,455,611円<br>42.3 (%) | 改修工事による休館のため。また H27.11 から県に譲渡したため。 |

|       |             |             |                       |   |
|-------|-------------|-------------|-----------------------|---|
| 需用費   | 3,748,000円  | 15,002,686円 | -11,254,686円<br>25.0% | 〃 |
| 役務費   | 0円          | 0円          | —                     |   |
| 維持管理費 | 686,000円    | 1,101,541円  | -415,541円<br>62.3%    | 〃 |
| 広告費   | 0円          | 0円          | —                     |   |
| 施設管理費 | 3,794,000円  | 9,278,102円  | -5,484,102円<br>40.9%  | 〃 |
| 合 計   | 18,841,000円 | 50,450,940円 | -31,609,940円<br>37.3% |   |

### ※3 経営状況分析指標

| 項 目             | 本年度〔平成27年4～10月〕 A | 本年度〔平成26年4～3月〕 A | 対比<br>A-B、A/B       | 備 考 |
|-----------------|-------------------|------------------|---------------------|-----|
| ①事業収支           | 0                 | 0                |                     |     |
| ②利用料金比率         | 11.8%             | 43.6%            | -31.8ポイント           |     |
| ③人件費比率          | 56.3%             | 49.6%            | +6.7ポイント            |     |
| ④外部委託費比率        | 3.6%              | 2.1%             | +1.5ポイント            |     |
| ⑤利用者当たり管理コスト    | 2,184円            | 786円             | +1,398円<br>277.9(%) |     |
| ⑥利用者当たり自治体負担コスト | 1,889円            | 435円             | +1,454円<br>434.3%   |     |

#### ①事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかを確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

#### ③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

#### ④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

#### ⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

#### ⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

### ※4 団体等の経営状況(年度毎に実施)

| 項 目       | 平成22年            | 平成24年  | 平成25年  | 平成26年  | 平成27年  | 備 考 |
|-----------|------------------|--------|--------|--------|--------|-----|
| ①自己資本比率   | —                | 34.7%  | 31.3%  | 34.0%  | 39.4%  |     |
| ②流動比率     | —                | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |     |
| ③固定長期適合率  | —                | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |     |
| ④総資産経常利益率 | —                | 34.7%  | 31.3%  | 6.6%   | 11.3%  |     |
| 評 価       | (以上の指標を参考に評価する。) |        |        |        |        |     |

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率（\%）} = \text{自己資本} \div \text{総資本} \times 100$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率（\%）} = \text{流動資産} \div \text{流動負債}$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率（\%）} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資本}$$

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

未実施